

閲覧ニュース

26号

1980.4

教養とは

小野 健一（館長）

教養という言葉は普通リベラル・アートと訳します。リベラル・アート、つまりラテン語のアルテス・リベラレスをもう一度日本語にすると、今度は自由諸学などと訳しておりますが、それは人によって二様に解釈されているようです。第一はアルテス・メカニカエ、すなわち職業訓練的な学問に対して、当面の実利を目的にしない学問を意味するという説、第二は、数学や自然科学のように、神の権威と無関係な、神様から自由な学問を意味するという説です。どちらも尤もらしい説で、要するにリベラル・アートとはそれら両極端のどちらにも偏しない、どちらからも自由な学問を指すのでしょうか。

■ 館長の更迭

長い間、教養図書館長としてご尽力いただきました綱島先生に代わって小野先生がこの4月より館長となりました。綱島先生にはご多忙な職務のあい間をぬって何回となく閲覧ニュースにも原稿をお寄せいただき、また今回も無理を申しあげて「図書館」に寄せるお言葉をいただきました。多謝。新館長の小野先生は物理学者、また図書館に一味違った新風を送ってくださることでしょう。新旧館長のお気持ちを汲みとりながらじっくりと味わってみて下さい。また今回は、新入生特集号として小原文庫をとりあげてみました。よりいっそうのご利用を期待しております。

しかし、私自身は、教養という言葉はリベラル・アートと訳すよりも、むしろフィロソフィア、つまりソフィアを愛することと訳す方が正しいのではないかと考えております。本学のモットーである「ソフィア・カイ・エルゴン」の前半のソフィアですね、それに対する愛を教養というのではないのでしょうか。

それではソフィアとは一体なにかということになりますが、それは大変な大問題で、山根先生にでもお尋ねしなければ到底正確なことはわかりませんから、聖アウグスティヌスの回心の動機になった手毬歌のように、「取りて読め、取りて読め」とでもいって逃げさせて頂くことにいたします。

閲覧証を大切に

教養図書館では、年度始めに新入生に閲覧証を発行しますが、同時に全員が図書館の利用者として登録されます。閲覧証は北里大学の各図書館に共通して使用するもので図書館へのパスポートとお考え下さい。教養図書館の本を借りる場合は必ず持参して下さい。提示のない場合は残念ながら図書の貸出をお断りしますので予め御了承下さい。紛失した場合は、速やかに図書館に届け出、交付を受けて下さい。再交付には実費（300円）を頂きます。

繰 り 言

綱 島 窈

これからの図書館はただ書物をたくさんに集めておく場所ではなくなってくる。昔は「汗牛充棟」として「牛があせをながすほどの重さ、家のむねにとどくほどの多量」の意味で、持っている書物がたいそう多いことをいったが、現代のような情報の洪水の中では、書物ばかりがその全体を占めるわけには行かなくなった。充棟にも限度もあろうし、人知は無限の拡がりを見せる。次ぎ次ぎと新しい技術の開発があって、図書館の機能もさまざまな方面へ手を伸ばして知識の収集に努めねばならない。どんな小さな図書館でも日本中、いや、世界中と手を結べば立派な1つの情報センターになることができる。

とはいっても……。私の体に沁みこんだ図書館は、うす暗い書庫の中に書物特有のかび臭い甘ずっぱい匂いがこもり、貸り出した本

を閲覧席の固い机と椅子にひんやり坐ってひろげる。あの森閑とした雰囲気を持つものであった。心を静めるといっても、学生時代の試験勉強では焦りもあったし、不安もあって、その静けさがかえって心をいらだたせたこともあった。でも図書館は1つの修練の場として緊張を覚えるところであることには変わりなく、それだけに時には敬して遠ざけるようなこともなきにしもあらず。古くさい道場のような図書館はもうこれからは適用しないのかも知れない。定年を迎えて世代を譲る身になればこうした繰り言をいうのも世の常とご堪弁願うとして、この教養図書館も古いよいものを残しながら新しい発展の途をきり拓いて欲しいものだと思う。

55. 3. 15

~~~~~小 原 文 庫 に つ い て~~~~~

昭和53年4月、元玉川大学総長、故小原国芳氏から寄贈されました玉川大学出版部の図書205冊を“小原先生と玉川大学の御厚意を永遠に伝えるために教養図書館に小原文庫を設置することに致しました。”と「小原文庫」の設置にあたって、学長の長木先生からその経緯にふれたお言葉をいただきました。（閲覧ニュース19号で紹介）そして、この度再び玉川大学出版部より148冊の寄贈にあずかり小原文庫を紹介

介することになりました。図書館カウンター左隅の書架に排架された計353冊の図書です。利用・貸出方法は一般図書と同様ですが、図書を主題分類せずに、ラベルには小原文庫と文庫の番号のみを記しています。教育関係の図書を中心にその主題も幅広く興味深いものがたくさんあります。皆さんの読書生活の仲間にぜひ入れてみたいかがでしょう。以下に新しく寄贈された図書を紹介してみます。

寄 贈 図 書 の 紹 介

（小原文庫 No.206-353）

中原中也の手紙 安原喜弘著 小原文庫206
子ども その権利と責任

J. Holt 著 原忠男訳 “ 207

ラ・フォンテーヌ寓話（全3冊）

J. de La Fontaine 著

川田靖子訳 小原文庫208-210

象徴の美——装飾美論			書物と詩の世界 富士川英郎著 小原文庫 233
岡村吉右衛門著	小原文庫 211		小説教育者 全4巻 添田知道著 " 234-237
私の弓道修行 石岡久夫著	" 212		西洋哲学史要 波多野精一著 " 238
ばがてるの宿 古垣鉄郎著	" 213		教育原論 鯨坂二夫著 " 239
ざりがにの歌——私の履歴書他——			哲学的人間学 高山岩男著 " 240
古垣鉄郎著	" 214		ヘルバルト教育学の研究 是常正美著 " 241
玉川塾の教育 小原国芳著	" 215		キリスト教の本質
現代教育学の論争点——教育学の大			ハルナック著 山谷省吾訳 " 242
系的展望——J. Derbolav 著			教育の根本問題としての哲学 第23版
小笠原道雄監訳	" 216		小原国芳著(小原国芳全集4) " 243
道徳の人間学的エッセイ			日本新教育秘史1-2 小原国芳著
O. F. Bollnow 著 岡本英明訳	" 217		(小原国芳全集41・42) " 244-245
教師のための100の名言 皇至道著	" 218		教育論文・教育随想9 小原国芳著
人間性への教育——ワルター・アスマス			(小原国芳全集46) " 246
講演集——W. Asmus 著 玉川大学教			教育講演行脚・身辺雑記14
育学科編	" 219		小原国芳著(小原国芳全集47) " 247
文芸学概論 浜田正秀著	" 220		身辺雑記15・教育随想10
教育の本質 前田博著	" 221		小原国芳著(小原国芳全集48) " 248
新しい教育と哲学——ボルノー講演集——			数学風まかせ——数学者の模索——
O. F. Bollnow 著 浜田正秀〔等〕訳	222		清水達雄著(玉川選書1) " 249
教育者への書簡 高山岩男著	" 223		地球と磁石——地球科学者の模索——
早教育と天才 木村久一著	" 224		力武常次著(玉川選書2) " 250
教育とわが生涯 小原国芳著			星のことば 小尾信弥著(" 3) " 251
南日本新聞社編	" 225		科学の生命——科学的ヒューマニズム——
親と子の水泳教育 小野三嗣著	" 226		G. Sarton 著 森島恒雄訳
評伝北原白秋 増補改訂版			(玉川選書4) " 252
藪田義雄著	" 227		動物の生きる条件 日高敏隆著
フレーベル全集3 W. Lange 編	" 228		(玉川選書5) " 253
ギリシア数学の始原			天候さまざま——風土論ノート——
A. Szabó 著 中村幸四郎他訳	" 229		根本順吉著(玉川選書6) " 254
子供のための創造教育——クリエイティブ			誰のための体力か——体力における自己
・ドラマチックス——G. B. Siks 著			責任——小野三嗣著(玉川選書7) " 255
岡田陽他訳	" 230		手さぐり日本——「手」の思索
Kuniyoshi Obara and the			秦 恒平著(玉川選書8) " 256
concept of "the whole man".			たべものの地理 浅井得一著
Tsuchiyama Bokumin.	231		(玉川選書9) " 257
現代芸術への思索——哲学的解釈——			ミツバチの科学 岡田一次著
K. Harries 著 成川武夫訳	" 232		(" 10) " 258

動物のころを探る—人間性の源流—

- 小原秀雄著 (" 11) 小原文庫 259
- 生命への畏敬—シュワイツァーの
- 人間像—高橋 功著 (玉川選書 12) " 260
- 服装の地理—身を飾る人間—
- 別技篤彦著 (玉川選書 13) " 261
- 花の秘密—育種さまざま—
- 佐俣淑彦著 (" 14) " 262
- コケに魅せられて—自然史科学への道—
- 井上 浩著 (" 15) " 263
- メソポタミアの春—オリエント学の周辺
- 矢島文夫著 (" 16) " 264
- 地質への招待—頭とハンマーで—
- 藤田至則著 (" 17) " 265
- 動物園学ことはじめ 中川志郎著
- (" 18) " 266
- 美を守る—絵直し稼業—
- 黒江光彦著 (" 19) " 267
- 海の友だちアザラシ
- G. Gronefeld 著 野田保之訳
- (" 20) " 268
- 演劇のすすめ 若杉光夫著
- (" 21) " 269
- 地震を追って—アメリカの研究生活—
- 力武常次著 (玉川選書 22) " 270
- 水の惑星—元素・地球・人間—
- 島 誠著 (" 23) " 271
- 国際漁業紛争と法 山本草二著
- (" 24) " 272
- 写真に生きる—ある報道人の遍歴—
- 阿部徹雄著 (" 25) " 273
- 能のすすめ 中森晶二著 (" 26) " 274
- 書物との出会い—読書テクノロジー—
- 紀田順一郎著 (" 27) " 275
- 日本の神秘思想 金岡秀友著
- (" 28) " 276
- 独創の方法 井尻正二著 (玉川選書 29) " 277
- 東洋の宝石真珠 小栗宏著 (" 30) " 278
- お米とともに 松尾孝嶺著 (" 31) " 279

数学と歴史のはざま 村田全著

- (" 32) 小原文庫 280
- 旧約聖書と現代 浅野順一著
- (玉川選書 33) " 281
- 動物はなぜ動物になったか
- 日高敏隆著 (" 34) " 282
- 詩と音楽美の原質 土田貞夫著
- (" 35) " 283
- 眼りの精を探る 内園耕二著
- (" 36) " 284
- たたら—日本古来の製鉄技術—
- 黒岩俊郎著 (" 37) " 285
- 辞書をつくる—現代の日本語—
- 見坊豪紀著 (" 38) " 286
- 能の見どころ 中森晶三著 (" 39) " 287
- 映画のいのち—私の戦後史—
- 吉村公三郎著 (" 40) " 288
- バナナの経済学 若槻泰雄著 (" 41) " 289
- 能の知恵 中森晶三著 (" 42) " 290
- 隕石の科学 島 誠著 (" 43) " 291
- 児童文学の散歩道 安藤美紀夫著
- (" 44) " 292
- 数学史の世界 村田全著 (" 45) " 293
- 宮沢賢治—地学と文学のはざま—
- 宮城一男著 (" 46) " 294
- 日本の植物区系 前川文夫著
- (" 47) " 295
- 地中海の中のスペイン 並河万里著
- (" 48) " 296
- 人間の地理学 浅井得一著 (" 49) " 297
- 日本人の笑い 深作光貞著 (" 50) " 298
- 読書の愉しみ 吉村公三郎著 (" 51) " 299
- アメリカ看護を学ぶ 長浜晴子著
- (" 52) " 300
- 雑食化への道—野生チンパンジーの
- 生態—鈴木晃著 (" 53) " 301
- 生きていた絵文字の世界 山田勝美著
- (玉川選書 54) " 302
- 南極・火山・地震 神沼克伊著
- (玉川選書 55) " 303

木—しらき 日本人のくらし

秋岡芳夫著(" 56) 小原文庫304
住—すまう 日本人のくらし

秋岡芳夫著(" 57) " 305
創—つくる 日本人のくらし

秋岡芳夫著(" 58) " 306

日本の哺乳動物 朝日稔著(" 59)" 307

旅の発見 岡田喜秋著(" 60) " 308

辞書と日本語 見坊豪紀著(" 61)" 309

光—自然と人間 J・S・Collis 著

福本剛一郎訳(" 62) " 310

医の倫理 中川米造著(" 63) " 311

愛されるよりも—創造的女性の魅力—

高見沢潤子著(" 64) " 312

花と花粉の世界 岩波洋造著(" 65)" 313

宇宙観のルネサンス 小尾信弥著
(" 66) " 314

地中海 石と砂の世界 並河亮著
(" 67) " 315

地中海 神と人の世界 並河亮著
(" 68) " 316

気象の周辺 根本順吉著(" 69) " 317

狂言のすすめ 山本東次郎4世
(" 70) " 318

山 探検 フィールドワーク
松本篠夫著(" 71) " 319

星の誕生と宇宙の塵—宇宙塵・テクタイト—
島 誠著(" 72) " 320

仏像のながい旅路 並河亮著(" 73)" 321
暮しの知恵—考える生活科学—

篠田統著(" 74) " 322
日本固有の植物 前川文夫著

(" 75) " 323
水—自然と人間

J. S. Collis 著 福本剛一郎訳
(" 76) " 324

資源の地理 浅井得一著(" 77) " 325

アフリカの野生動物 小原秀雄著
(" 78) " 326

良寛—日本人のこころ—
加藤信一著(" 79) " 327

けいこと日本人 中森晶三著(" 80)" 328

ユークリッド—原論の背景—
中村幸四郎著(" 81) " 329

近代人の意識構造—ヨーロッパ文学—

相原幸一著(" 82) 小原文庫330
超高压で創る地球 針谷宥著

(" 83) " 331
おもちゃから童具へ 和久洋三著

(" 84) " 332
今日の都市 明日の都市 角本良平著

(" 85) " 333
シルクロードを駆ける—汗血馬の源流—

松浪健四郎著(" 86) " 334
オキアミ戦争—最後のたんぱく資源

刀根正樹著(" 87) " 335

氷の大陸 南極 神沼克伊著(" 88)" 336

農業博物誌 筑波常治著(" 89) " 337

娘と私の英語留学記 松香洋子著
(" 90) " 338

翻訳の論理—英語から日本語へ—
松村達雄著(" 91) " 339

青春の読書 吉村公三郎著(" 92) " 340

合金—現代の錬金術 松山芳治著
(" 93) " 341

外国学ことはじめ 河部利夫著
(" 94) " 342

笑い泣く性—文化生理学コースリー—
中川迷造著(" 95) " 343

森—自然と人間 J. S. Collis 著
福本剛一郎訳(" 96) " 344

現代文明はどこへ行くか—魔術師の弟
子たち—M. Oraison 著

佐藤正明訳(" 97) " 345
極北のインディアン 原ひろ子著

(" 98) " 346
昆虫と化学 石井象二郎著(" 99) " 347

自由社会の病理—幻想のなかの平等と
自由—勝田吉太郎著(" 100) " 348

チンパンジーの言語学習
A. Amon 著 岡野恒也訳(" 101)" 349

北京便り 安藤彦太郎著(" 102)" 350
地球時代の先駆者—外政家ウィルソン—

A. S. Link 著 松延慶二著(" 103)" 351
聖と俗 塔と広場の思想

梶谷善久著(" 104) " 352
仏像をみる人のために

佐藤昭夫著(" 105) " 353

新入生の皆様へ

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。
これからの4年間、あるいは6年間の学生生活を
実り多いものにするためにも、ぜひ図書館に
慣れ親しんで下さい。学生の皆様へのコミュニ
ケーションの一つとして、教養図書館ではその
時々のお知らせを掲載した閲覧ニュースを年3、
4回発行しております。図書館のよき利用者が
一人でも増えます様にと願っています。なお、
閲覧ニュースのバックナンバーが多少あります
ので、御希望の方はその旨、申し出て下さい。



類縁機関案内

大学入学とともに、皆さんの行動範囲もぐんと
と広がり、また学習研究活動にも一図書館のみ
ではとても役に立たなくなる時がいずれ来るで
しょう。そんな時の為にもいくつかの代表的な
図書館を知っておくと便利です。以下に都内、
近県の図書館を紹介しましょう。また更に詳し
く知りたい方のためには、次のような資料が参
考になります。

- ★日本の図書館 日本図書館協会
- ★神奈川の図書館 神奈川県図書館協会
- ★専門情報機関案内—東京版—
東京都立中央図書館
- ★ふみくら—日本の文庫案内—朝日新聞社
- ★音楽資料探訪—東京とその周辺—
音楽図書館協議会
- ★専門情報機関総覧 専門図書館協議会

名 称	所 在 地	T E L	交 通 機 関	利 用 資 格 (入 館 条 件)	開 館 時 間	休 館 日
国 立 国 会 図 書 館	千代田区永田町1-10-1	581-2331	(地) 丸の内線 国会議事堂前	— 般	9:30~17:00	日・祝・月末
都 立 中 央 図 書 館	港区南麻布5-7-13	442-8451	(地) 日比谷線 広尾	"	9:30~20:00 (土 17:00)	月・祝・14日
都 立 日 比 谷 図 書 館	千代田区日比谷公園1-4	502-0101	(“) " 霞ヶ関	"	10:00~19:00 (土 17:00)	日・祝・14日
神 奈 川 県 立 図 書 館	横浜市西区紅葉ヶ丘9-2	045 241-3131	(国) 桜木町	"	9:00~19:00 (土 17:00)	日・祝・月始
神 奈 川 県 立 川 崎 図 書 館	川崎市富士見町2-1-4	044 233-4537	(“) 川 崎	"	9:00~19:00 (土・日 17:00)	月・祝・月始
横 浜 市 立 図 書 館	横浜市西区老松町1	045 231-1304	京浜急行 日の出町	"	9:00~19:00 (土・日 17:00)	月・祝・月末
相 模 原 市 立 図 書 館	相模原市鹿沼台2-13-1	0427 54-3604	横浜線 湖野辺	"	9:00~17:00	月・祝・月末
日 本 近 代 文 学 館	目黒区駒馬4-3-55	468-4181	井の頭線 駒馬東大前	18才以上(100円)	9:30~16:30	日・祝・月末
東 京 ア メ リ カ 文化センター図書館	港区芝公園2-3-6ABC会館	436-0901	(国) 浜松町	— 般	10:30~18:30 (土 14:30)	日・日米の祝
東 京 ゲ ー テ ー インスティテュート	港区赤坂7-5-56	583-6369	(地) 銀座線青山1丁目	"	10:00~18:00 (月14:00~20:00)	土・日・祝
日 仏 会 館 図 書 館	千代田区神田駿河台2-3	291-1144	(国) お茶の水	"	10:00~18:00 (7日~9日17:00)	日・祝・7/14 12/25・夏季土

閲覧ニュース26号

1980. 4. 7

北里大学教養図書館

発行責任者 小 野 健 一